THE SMILE TIMES

スマイルタイムズ

No，１５４

平成２１(2009)年1月２０日（火）発行

発行者　小浜市多田2-2　中山クリニック　院長　中山茂樹

http://www.nakayama clinic.jp

年頭所感…いろいろ

院長　　中山　　茂樹

新年あけましておめでとうございます。

今年こそは世界が明るい年になって頂きたいものです。旧年から思うに、わが国では漢字が読めないが総理大臣にはなれるという悪しき慣習が残らねばよいのですが…。それに引き替え、アメリカではオバマ氏が国民に夢と期待を与えて、明日（日本時間1／21日1時30分）大統領になられますが、これほどの世界金融危機の時にあれほど期待をかけられるなんてすごいですね。アメリカ国民は前代未聞の200万人がワシントン広場に集まり、自分の国の大統領の就任を祝おうというのです…。

さて、お正月あけのニュースに、沖縄のサンゴ礁の埋め立てを報道していました。あんな美しい海を、サンゴ礁を、自然を、破壊するなんて文明の名を借りた暴力だと思いました。破壊するのは簡単ですが、再生するのは難しい、というのは誰でもが知っていることなのに。どうしてそうなるのか。忙しい文明よりものどかな文化を選ぶ時代が来ているように思います。また、私は2000年になった時からうちのスタッフに言っていることですが、不景気になったときこそ人が財産なのですから、何にもまして人が重要なものであるという意識を持ちたいものです。今の大会社のように人を大切にしないところは徐々に体力をなくしていくでしょう。

それに食糧不足・水不足が世界で叫ばれていても、日本は残飯を年1200万トン以上捨てているといわれていますし、水に関しては他国の状況を対岸の火事のように見ています。先ずは日本国民は食べ物を今少し大切にする心を養いたいし、水不足の国へは日本の技術でもっと協力することが大事だと思います。

新年の院長一家　前号で紹介した伊藤晴子氏の絵の前で

私の子供の頃は食べ物については家族で残り物が出るようなことは先ず無かったと記憶しています。残ったら次の食事時にきれいに食べましたし、腐りかけのミカンやリンゴも悪いところは落としてすっかり食べました。

以上をまとめれば、改めて自然、人、食べ物、水を大事にしましょうということになりましょうか。そして今年こそは昭和３０年代の何もなくても幸せであるという（「国民総中流意識」と誰かが命名した）生活を、スローライフを、取り戻してはいかがでしょう。

但し、政治には関心をもち、しっかり自分の目で見守っていきましょう。税金の無駄遣いをされないように。

今年も皆様が健康であって、笑顔が絶えない生活でありますように祈念しております。

一期一会　―出会いを大切に―

事務　**加門　美樹**

当院の事務員としてお世話になり始めてから、もうすぐ一年が経とうとしています。まだまだ未熟な私ですが、職員の皆さんや通院されている患者様に見守って頂きながら、何とか頑張ることができています。

高校を卒業してから７年間の学生生活・社会人生活を京都で過ごしました。京都での生活は家庭と離れ、不安でありつつも自由な空間でしたがその分責任というものを身にしみて感じた時間であり、多くの人に支えられていることに気づけた貴重な時間でもありました。だからこそ、人と人との出会い、そしてその繋がりを大切に考えるようになりました。“一つ一つの出会いには必ず何か意味がある”そう思うことで誰かと知り合うことが楽しくなりました。

出会いは自己成長のスタート地点でもあると思います。当院での多くの方々との出会いに感謝し、また、これからの新しい出会いを楽しみに、今の生活を一日一日大切にしていきたいと思います。

今回、このように書ける貴重な機会を頂きありがとうございました。

… … … … … … … … … … … … …

《　あ　と　が　き　》

１）院長の文にありますようにアメリカでは現地時間２０日に建国以来始めての黒人（ハーフでもアメリカでは黒人とされる）大統領が誕生します。名前がＯＢＡＭＡで発音・スペルとも当小浜と一致するので小浜の有志が勝手に応援してきました。彼の出身地ハワイのフラダンスで応援してきた中心人物が当院のエアロビのインストラクター清水千賀子さんです。「オバマガールズ」を結成、ハワイにも行って来ました。当地名産オバマ饅頭、オバマＴシャツがよく売れているそうです。遠のいていたアメリカが近くなったようです。彼とアメリカの今後を見守りましょう。

２）新型インフルエンザ（鳥のものが変形した）の流行が恐れられています。大いに注意して下さい。